ギフト・ショーが80回の節目迎える

ビジネスガイド社

ビジネスガイド社は2月25日、都内で記者発表会を開き、「第80回ギフト・ショー秋2015」の概要について発表した。

ギフト・ショーは、1976年に「第1回ギフト&ホームアクセサリーショー」を東京都立産業会館大手町会館において開催して以来、会場を移し規模を拡大しながら今年9月の開催で40年、通算80回目の節目を迎える。これにあたり、ギフト・ショーの発展に長年サポートしてきた出展社への感謝状贈呈、各業界をリードする出展社、バイヤー、来場者によるオープニングセレモニーを行う。

また、今までのギフト業界とこれからの方向性について、業界で長年にわたり活躍し続けている人、また消費者のライフスタイルが多様化する昨今においてヒットを連発している人を講師に迎えて「東京ギフト・ショー開催80回記念 特別セミナー」を開催する。

シニア向け提案を強化（今春のギフト・ショー）

そのほかにも、80回記念年表の製作、配布を行うとともに、過去、東京ギフト・ショー各種コンテストで受賞し、その時代をより輝かせた商品を展示してギフトマーケットの歴史を振り返るイベントも用意する。80回記念オリジナルグッズの製作、記念パーティの開催などメモリアルイヤーを祝う企画も検討中という。

次回のギフト・ショー（於＝東京ビッグサイト全館）は9月2～4日、「世界市場を取り込む再生ニッポンの決定打」をテーマに行われる。

芳賀信享社長（右）と久枝会長

特別展示イベントとして、日本発のモノをその背景にある文化ごと紹介し、海外へ発信する「HAPPY JAPAN（仮称）」が東館と西館2カ所に分けて催されるほか、東5ホールではオーガニックコスメの第一人者である吉川千明氏がセレクトした商品を一堂に集めたオーガニックライフ展「自然と寄り添う～オーガニックな暮らし方を提案」が開催される。

また、ギフト・ショーの中でも注目の企画となっている、次世代のデザインマーケットを担う新進気鋭のクリエイターの作品を集めた「ACTIVE CREATORAS」を、次回からレセプションホールに会場を移して開催することが決まった。会場規模が拡大したため、従来の倍以上のブランドが出展可能となり、多くのクリエイターがビジネスの場を得るチャンスが増えたという。

「ギフト・ショーは時代のニーズに合わせて会場を変えながら40年間開催し続け、現在は年2回、出展社数は5000社、来場者数は40万人と日本最大のパーソナルギフトと生活雑貨の国際見本市に成長した。100回目以降もこの盛況を続け、ギネスブックに載るような見本市にしたい」（芳賀信享社長）

私の H&B 日記

伝統と革新

今年5月に初節句を迎える次男のために、つい先日、五月人形を購入した。

長男は自分が幼い頃に飾っていた鎧兜のお下がりを持っているので、我が家で五月人形を購入するのは今回が初めてだった。

自宅から程近い東京・浅草橋にある人形問屋街を散策すると、どの店にも煌びやかな鎧兜が並ぶ。「強く逞しく元気に育って欲しい」という思いから、伊達政宗や真田幸村、上杉謙信など名だたる戦国武将の鎧兜が今なお人気のようで、行く先々のお店に飾られていた。

ついつい煌びやかなものが欲しくなるが、狭い我が家には長男の鎧兜を飾るだけで結構なスペースを取るので、なかなかそうもいかない。

「既に鎧兜をお持ちであれば、2人目のお子様には武者人形などの脇飾りを選ばれるケースが多い」という店員さんのアドバイスもあり、今回はコンパクトなケース入りの脇飾りを購入した。

単に脇飾りといっても、金太郎や桃太郎、鍾馗（しょうき）、飾馬、馬乗大将など種類は豊富だ。どれにしようか悩んでいると、「この子は午年生まれだから、馬に縁のあるものがいい」という妻の一声で、馬に乗った武者人形を選ぶことにした。

切れ目で凛々しい昔ながらの顔立ちをした人形ばかりかと思いきや、最近では現代的な顔立ちにアレンジしたものもある。悩んだ末に、目が大きいとよく言われる次男の顔立ちに近いものがいいと考え、キューピー人形のような目をした武者人形を購入した。

現代風にアレンジされたものは武者人形だけでなく、映画「スター・ウォーズ」とコラボレーションしたダース・ベイダーの鎧兜まであった。

今回の買い物では、日本古来の伝統文化を守っていくために従来の価値観に囚われず、時代の変化に応じて新たな日本人形の市場を創造する老舗企業の姿勢を感じた。伝統文化とは、こうした革新の継続によって次の時代へと受け継がれていくのかもしれない。（之）

あらた

タイでサハグループと合弁会社を設立

あらたは、アジアでの事業展開を目指し、3月上旬にタイのサハグループと合弁会社を設立した。

サハは、タイ最大規模の企業グループで、国内外で化粧品や衣料品、食品、日用品などの幅広い消費財の製造・物流・販売を行っている。今後、タイ市場でサハグループの市場影響力とあらたの販売・物流ノウハウを活かした取り組みを開始する。資本金は約7000万円で、出資比率は、あらたが49%、ARATA（THAILAND）CO.；LTD.が26%、SAHA PATHANA PIBUL PLC.が25%となっている。

また、あらたはディーエイチシーの総代理店として、タイの大手小売に商品の供給を開始する。